



ケヤキ並木清掃活動に参加して(三中)

今年のケヤキ並木清掃活動には、5日間に延べ204人の三中生が参加しました。毎週金曜日には、生徒会の生徒が校内放送で参加の呼びかけを行いました。参加した生徒の感想では、

- ・毎日通っている道が綺麗になっていくことに、やりがいを感じた。
- ・朝、いつも通りに起きたので生活リズムが整った。
- ・清掃後に地域の方から「ありがとう」「おつかれさま」と感謝の気持ちを言われ嬉しかった。

など、たくさんの感想を書いてくれました。また、地域の方からは、

- ・三中生はとても真面目に掃除をしてくれていた。
- ・毎週参加している生徒もいたよ。

と話してくださいました。これからもこうした地域の活動を通して、地域の大人との交流ができ、地域の一員として繋がりが持てるように取り組んでいきたいと思えます。



校内放送で呼びかけ



友達と一緒に参加して楽しかった



「みんなと一緒に学校で色々なことをして楽しいです。」と水落さん

地域のたからは？(渡小・2年生)

境港にある「芋代官」の石碑は、昔この地を飢饉から救った井戸平左衛門の功績をたたえたものです。渡小では、門脇哲也さんから渡の歴史を学び、水落篤さんや食生活改善推進委員の皆さんとサツマイモを育て、春から学んできたことを劇にして学習発表会で発表をしました。

後日、水落さんをゲストティーチャーにお迎えして「地域の人々のたからは君たち渡っ子だよ。渡っ子のみんなから元気にあいさつをしてもらおうと嬉しい気持ちになります。」とお話をいただきました。「水落さんの気持ちを聞いて、これから自分が頑張りたいことを発表してください。」と先生が言うと「あいさつを頑張りたい。」「道路に飛び出さないようにします。」「友達が悲しくなる言葉を使わないようにします。」としっかりと発表してくれました。

継続は力なり(外江小・しらお塾)

放課後に宿題をして帰る児童が増えました。去年からしらお塾に参加している児童は、挨拶をしてからしらおルームに入るとすぐにノートを開き宿題を始めるようになりました。また、まわりがおしゃべりをしていても集中して宿題に取り組めるようになった児童もいます。時には、だらけてしまう姿もありますが、そんな時でもボランティアさんは「学校で一日頑張ったね。残りの宿題は家でする？」と優しく声をかけます。

宿題は子どもたちにとっては大きな仕事です。毎日コツコツとやりとげる習慣を身に付けてほしいと思っています。子どもたちのおしゃべりが楽しくて、ついこちらもおしゃべりしてしまいますが。



漢字練習からする？

文責：高梨 典子
(地域学校コーディネーター)